

# 伊那谷研究団体協議会・第26回シンポジウム

飯田下伊那の文化遺産を彩る人びと 3

—学校教育150年を振り返って、あれこれ—

日時 令和6年2月10日(土) 午後1時30分(開会)

会場 飯田市上郷公民館2階大ホール 開場・受付 午後1時

主催 伊那谷研究団体協議会 後援 飯田市教育委員会

## 日程・次第

開会 13:30 ~ 13:40 10分 司会進行:村松 武 事務局長

開会挨拶 伊那谷研究団体協議会副会長 原 茂樹

主催者挨拶 伊那谷研究団体協議会 会長 松上 清志

来賓祝辞 飯田市教育長 熊谷 邦千加 氏

研究発表 13:40 ~ 15:10 90分

「ヒマラヤ登山に挑戦した伊那谷の若者たち」

伊那谷研究団体協議会顧問・伊那谷自然友の会 北城 節雄 氏

「ただひたすらに ~憧憬 林 芋村先生~」

元松川町教育長・伊那史学会 鋤柄 郁夫 氏

「竜丘の児童自由画教育と木下紫水について」

伊那谷研究団体協議会顧問・竜丘古墳の考える会 下平 隆司 氏

全体会 15:20 ~ 15:50 30分

パネリスト 発表者 北城 節雄 氏 鋤柄 郁夫 氏 下平 隆司 氏

コーディネーター 松上 清志

閉会 15:50 ~ 16:00 10分

加盟団体事業案内

閉会挨拶

副会長 原 茂樹

※発熱など体調不良の方はご遠慮ください。

コロナ感染などの状況により、人数制限・時間短縮、及び開催を中止することもあります。

## シンポジウムの趣旨

コロナ禍で中止になった第24回も含めて、「飯田下伊那の文化遺産を彩る人びと」の第3弾となります。飯田下伊那地方では、明治5年の学制発布の翌年から数えて創立150周年を迎えた学校も出てきています。その歴史を振り返り、その一面を「あれこれ」として、「ヒマラヤ登山に挑戦した教師たち」「平谷小学校での林芋村先生の教育にかける姿」「竜丘自由画教育を推し進めた木下紫水先生の姿」という3つをとり上げました。そこにおける彼らの逞しい生き様に学びとともに、現代の学校教育のあり方についても考えるシンポジウムを企画しました。

## 研究発表の要旨

### 「ヒマラヤ登山に挑戦した伊那谷の若者たち」

伊那谷研究団体協議会顧問・伊那谷自然友の会 北城 節雄 氏

昭和34年、伊那谷の若者たちが飯田山岳会をつくってヒマラヤの未踏峰をめざした。地方山岳会では日本最初の試みだった。彼らの気持ちの中には、西駒集団登山の体験が脈動し生かされていた。登山は、高山の自然をはじめとした多くのものを学び、精神の高揚の場とする文化活動ともいえる。伊那谷の青少年には、これからも西駒集団登山を体験して行ってほしい。

### 「ただひたすらに ～憧憬 林 芋村先生～」

元松川町教育長・伊那史学会 鋤柄 郁夫 氏

明治から大正にかけて平谷村を墳墓の地と定め、地位も名誉も求めず、ひたすら山の子どもに命をかけて教師道を貫き、不慮の死で生涯を閉じた一教員・林芋村への憧憬。

### 「竜丘の児童自由画教育と木下紫水について」

伊那谷研究団体協議会顧問・竜丘古墳の考える会 下平 隆司 氏

竜丘地区では大正時代から昭和の初めにかけて地域を挙げて、学校内における自由画教育・つづり方指導・童謡教育等が盛んに行われていた。特に、木下紫水（本名芳男）が指導した自由画教育は、大正八年竜丘地区で第二回全国児童画展を開催し全国的に名声を博した。小学校に当時の児童自由画が三百余点保存されている。

加盟団体：飯田昆虫友の会、南信州文化財の会、伊那史学会、伊那谷自然友の会、伊那谷地名研究会、金属・鋳物の会、下伊那教育会郷土調査部、下伊那考古学会、竜丘古墳を考える会、はなの木友の会、柳田國男記念伊那民俗学研究所、ふるさと文学碑研究会、恩がえしIILA、飯沼天神塚雲彩寺古墳保存会

伊那谷研究団体協議会ウェブサイト：<http://inadani-kenkyo.com> 伊那谷研究団体協議会で検索可

お問合せ・連絡先：事務局長 村松 武 080 5145 3976